



藤岡 緑 議員



# 五つの公約のまちづくりは、どう進展するのか

**問** 新年度に向け、公約に掲げる5つのまちづくりの進展施策は、

- ① 安心・安全なまちづくり
- ② 安心して子どもを生き、育てることが出来るまちづくり
- ③ 賑わいと活力のあるまちづくり
- ④ みんなで支え合うまちづくり
- ⑤ 快適で文化的でおしゃれなまちづくり

**答** 町長

① 昨年の台風18号の反省から、防災行政無線の放送内容を多くの人に同時に送信できるように伝達手段の拡充を図った。土嚢は平常時から2500袋を準備し、要請が集中しても対応できるようにする。

② 浸水対策も効果的で実現可能な防災対策を整える。

③ 地域子育て支援センターの土曜日の開所時間を平日並みに延長する。

岡田小学校放課後児童クラブを同敷地内に建設するため新築設計料の計上をした。

③ 昨年に引き続き地場産業育成のため『はだかむぎゅ』の商品化、松前町産はだか麦粉の安定供給を推進していきたい。

町内若手工商业者との対話を通し町独自の商業振興策を検討していく。

④ 町政懇談会からの意見を基に、庁舎前駐車場の不足の改善のため、旧保健センターを解体し跡地

に23台分駐車場確保の工事を計上。役場前の銅像のリフレッシュ工事で偉人の顕彰に。

エミフルから町内散策を気軽に楽しめるレンタサイクル事業の導入。利用者には「まさきいいとこマップ」の配布で、観光事業を盛り上げていく。

⑤ 橋や歩道、フェンスなど町内随所におしゃれポイントを創出。

郷土資料館的なものの整備については、専門家や町民の意見を聴きながら検討していく。

## 新年度の空き家対策は、どんな展開に

**問** 空き家対策について、以下2点の視点で問う。

- ① 町内全域での空き家調査の結果は、使用できる空き家の地域の特性を生かした利活用、事業化は。
- ②

**答** 副町長

① 最終的に246戸の空き家を確認。空き家の有効利用を図るため空き家台帳を作成。倒壊の危険、放置空き家に対する空家等対策計画は平成30年度末を目標に策定。

② 子育てや高齢者サロンなどの地域コミュニティ活動、交流ができる拠点として空き家を活用する場合に、改修費を支援する。

県が行っている「移住者住宅改修支援事業費補

助金制度」の活用で移住者の空き家利用を支援する。これらの事業費として200万計上する。